

亀岡市学校規模適正化基本方針（東輝・詳徳中ブロック）

背景

○市人口及び児童生徒数の推移

市人口は、市制施行からピークのH12まで増加を続けていたが、その後は減少し続けている。一方、児童生徒数はS60をピークに、その後は減少し続けている。なお、学校数はS63に南つつじヶ丘小学校が開校したのを最後に変化していない。

	市人口	小学生	中学生	児童生徒数	参 考
S30	42,537人	4,435人	2,665人	7,100人	17小学校・6中学校
S40	43,335人	4,300人	2,559人	6,859人	14小学校・6中学校
S50	58,184人	5,128人	2,187人	7,315人	16小学校・6中学校
S60	76,207人	8,528人	4,073人	12,601人	17小学校・7中学校
H7	92,398人	7,660人	3,983人	11,643人	18小学校・8中学校
H17	93,996人	5,898人	2,822人	8,720人	
H27	91,259人	4,891人	2,554人	7,445人	
H32	88,214人	4,646人	2,443人	7,089人	

基本的な考え方

○適正な学校規模・配置

〔学級人数〕

クラブ活動等の集団活動ができる人数の確保という観点を重視して、適正な1学級の人数規模を次の通り設定しました。

	適正な1学級の人数規模
小学校	20～34人
中学校	

〔学級数〕

学校が教育効果を発揮できる適正な学校規模として、クラス替えができ、人間関係の固定化を防ぎ、多様な集団の形成が図れるという観点を重視して、適正な1学年の学級数を次の通り設定しました。

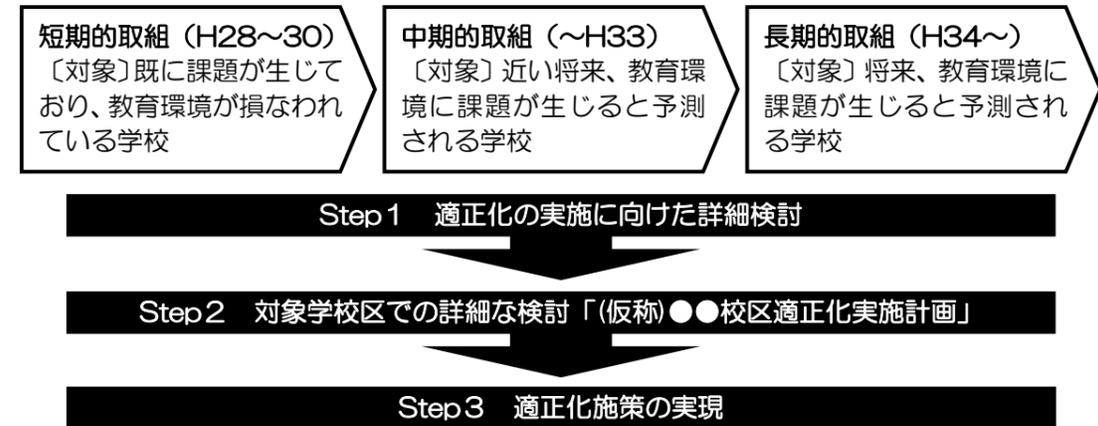
	準適正	適正な学校規模	準適正	適正な1学年の学級数
小学校	6学級～	12～18学級	～24学級	2～3学級
中学校				4～6学級

〔通学距離・通学時間〕

国の基準を準用しつつ、市域が広いという地理的な特性を勘案し、適正な通学距離、通学時間を次の通り設定しました。

	適正な通学距離	適正な通学時間
小学校	4 km以内	1 時間以内
中学校	6 km以内	

適正化への取り組みと今後の進め方



○地域別の検討組織での検討・協議

保護者、住民、学校関係者、教育委員会、行政等で組織する「(仮称)学校規模適正化地域別推進協議会」を設置して検討します。

地域別の方向性

○東輝中学校ブロック

〔課 題〕

- ・つつじヶ丘小学校では、大幅に「適正な1学年の学級数」を超えている。
- ・東輝中学校では「適正な1学年の学級数」を超えている。
- ・南つつじヶ丘小学校では、児童数が減少してきており「適正な1学年の学級数」が維持できなくなる可能性が高まっている。
- ・つつじヶ丘小学校区には、南つつじヶ丘小学校への方が通学しやすい区域がある。
- ・安詳小学校の児童は、東輝中学校と詳徳中学校に分かれて進学しているため「小中一貫教育」を推進するためには支障がある。

〔方向性〕

- ・つつじヶ丘小学校と南つつじヶ丘小学校の児童数及び通学距離のバランスが取れるように取り組む。
- ・中学校区全体についても生徒数が過大とならないように対応を進める。

○詳徳中学校ブロック

〔課 題〕

- ・安詳小学校では、大幅に「適正な1学年の学級数」を超えている。
- ・詳徳小学校では、児童数が減少してきており「適正な1学年の学級数」が維持できなくなる可能性が高まっている。
- ・安詳小学校の児童は、詳徳中学校と東輝中学校に分かれて進学しているため「小中一貫教育」を推進するためには支障がある。

〔方向性〕

- ・安詳小学校と詳徳小学校の児童数のバランスが取れるように取り組む。
- ・中学校区全体についても生徒数が減少しないように対応を進める。

東輝・詳徳中学校ブロック適正化実施計画(詳細版) <Ver. 5>

具体方策

- 安詳小学校区の一部を詳徳小学校区とつつじヶ丘小学校区に見直すことで、安詳小の過密状態を緩和し、詳徳小の複数学級を維持する。
- つつじヶ丘小学校区の一部を南つつじヶ丘小学校区に見直すことで、つつじヶ丘小の過密状態を緩和し、南つつじヶ丘小の複数学級を維持する。
- 上記の見直しに合わせて、東輝中学校区(亀岡中学校区)と詳徳中学校区を見直すことで、両中学校ブロックの1中2小を実現し、小中一貫教育をさらに推進する。

現行どおり

中学校	生徒数		小学校	児童数	
	H29 (実数)	H35 (推計)		H29 (実数)	H35 (推計)
詳徳	305	297	詳徳	244	193
			安詳	923	834
東輝	681	767	南つつじヶ丘	373	249
			つつじヶ丘	725	594
亀岡	554	(80)			

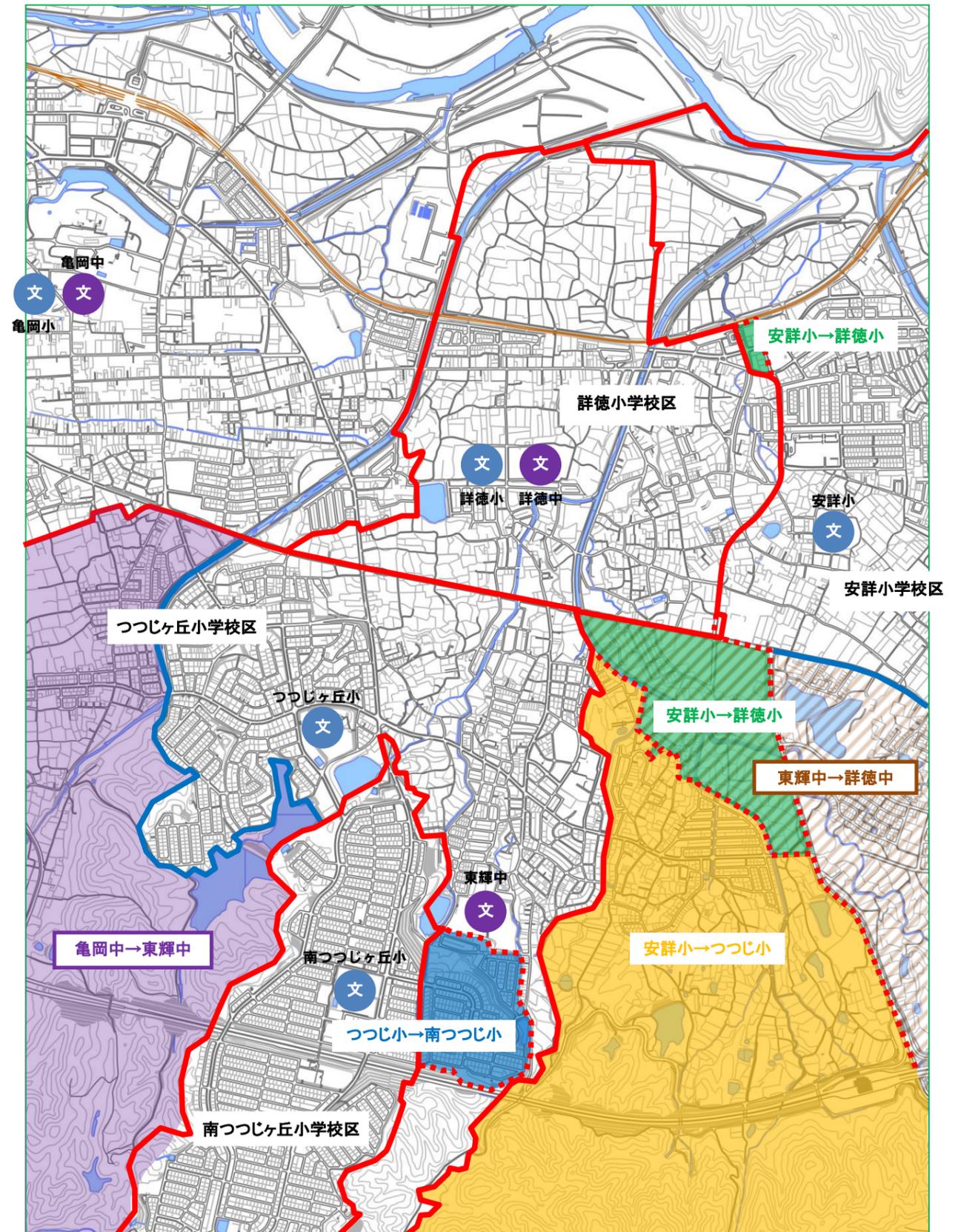
見直し後

適正規模 360~540

中学校	生徒数		小学校	児童数	
	H29 (実数)	H35 (推計)		H29 (実数)	H35 (推計)
詳徳	305	554	詳徳	244	263
			安詳	923	656
東輝	681	590	南つつじヶ丘	373	275
			つつじヶ丘	725	676

※何れも推計値には、宅地開発による転入等の社会増を見込んでいない。

指定校区の見直しMAP



東輝・詳徳中学校ブロック適正化実施計画（案）

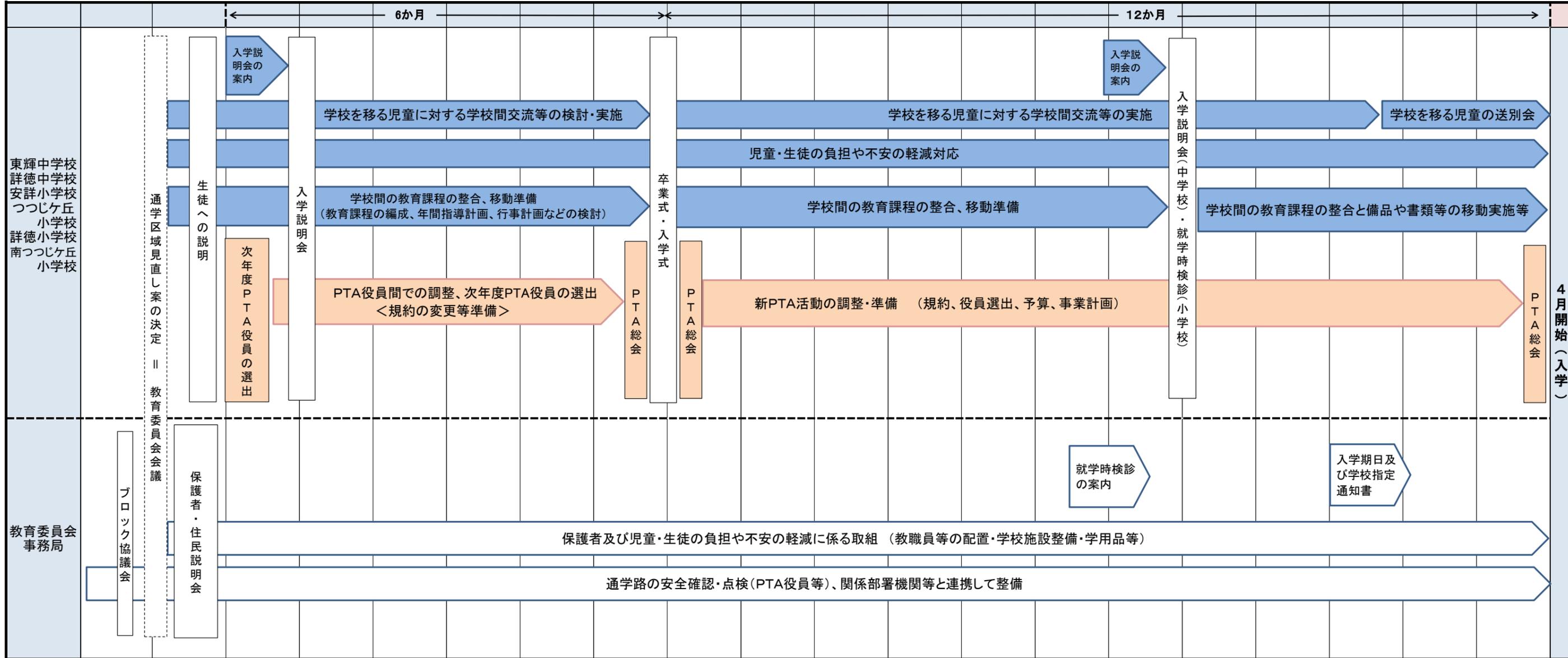
【実施方法】

（小学校区）

実施時期	実施決定から1年6箇月経過後の最初の4月から
方法	・新1～6年生まで全て移行し、新5・6年生は選択制 ・従来校に兄弟がいても特例は認めない
実施前の交流	実施予定
学用品の補助	実施予定 ※実施年度に限り、学校を移っていただく児童が対象

（中学校区）

実施時期	実施決定から1年6箇月経過後の最初の4月から
方法	・新1年生から移行 ・実施年度に限り、従来校に兄弟が通学している生徒のみ従来校も選択できる
実施前の交流	なし
学用品の補助	なし



亀岡市立小中学校の規模適正化に向けた歩み（東輝・詳徳中ブロック）

	ブロック協議会	篠町	東つづけ丘	西つづけ丘	南つづけ丘	亀岡地区
H29.07.04			つづけ丘小学校「PTA 説明会」説明、意見聴取			つづけ丘小学校「PTA 説明会」説明、意見聴取
H29.07.07					南つづけ丘小学校「PTA 説明会」説明、意見聴取	
H29.07.09						亀岡地区東部自治会「役員説明会」説明、意見聴取
H29.07.10		安詳小学校「PTA 説明会」説明、意見聴取				
H29.07.12		詳徳小学校「PTA 説明会」説明、意見聴取				
H29.08.01		東輝中学校「PTA 説明会」説明、意見聴取				
〃		詳徳中学校「PTA 説明会」説明、意見聴取				
H29.08.05		篠町自治会「区長会説明会」説明、意見聴取				
H29.08.18				西つづけ丘自治会「町内会長説明会」概要説明、意見聴取		
H29.08.19					南つづけ丘自治会「区長会説明会」説明、意見聴取	
H29.08.27			東つづけ丘自治会「区長会説明会」説明、意見聴取			

	ブロック協議会	篠町	東つづじヶ丘	西つづじヶ丘	南つづじヶ丘	亀岡地区
H29.08.30		野条・ひばりヶ丘区「地区説明会」説明、意見聴取				
H29.09.02			曙台4丁目（7区・8区）「地区説明会」説明、意見聴取			
H29.09.05		森（各区）「地区説明会」説明、意見聴取				
H29.09.08		篠・フェスタ・夕日ヶ丘区「地区説明会」説明、意見聴取				
H29.09.23		みどりヶ丘区「地区説明会」説明、意見聴取				
H29.09.30		ひばりヶ丘区「地区説明会」説明、意見聴取				
H29.10.01		花水木台区「地区説明会」説明、意見聴取				
H29.10.21		森洗川区「地区説明会」説明、意見聴取				
H29.10.31			曙台4丁目（7区）「地区説明会」説明、意見聴取			
H29.11.3			曙台4丁目（8区）「地区説明会」説明、意見聴取			

※各小中学校長とは随時意見交換

学校規模適正化住民説明会で出された主な意見・要望

肯定的な意見	<p>○当初案では、平成30年度から実施すると説明があり、そのつもりでいた。後ろにずれ込むよりは、できることなら早く実施してほしい。</p> <p>○決定してから実施まで1年半というのはいつからか。いつまで待てば良いのか。</p> <p>○東つつじヶ丘曙台4丁目の7区であるが、南つつじ小の方が近いので、変わるほうが良い。</p> <p>○実施を先延ばしにすれば、対象となる保護者や子どもが変わるためマイナスに働く。早く決めてほしい。いつまで声を聞くのか。</p> <p>○中学校だけでも早く実施できないか。</p> <p>○通学路に不安があるが、対策をすればこの案を受け入れられる。</p>
否定的な意見	<p>○修正案でも学校を変わりたくないという子どもがいるのではないかと引きこもりになったらどうするのか。</p> <p>○東つつじヶ丘曙台4丁目の8区は南つつじ小の前を通過して通学しているが、7区はそうでないので、子どもの意見を聞いて、場合によっては、つつじ小へ残して欲しい。</p> <p>○子ども一人一人の意見を聞かずに、大人の都合で決めるのか。各家庭で子どもの状況は異なる。在校生は選択できるようにして欲しい。</p> <p>○今後、社会増でつつじ小と南つつじ小の児童数の乖離が進むのではないかとこの計画で大丈夫か。</p> <p>○区としての取組があり、区でばらばらの学校に通うのではなく、一緒のほうが良い。</p> <p>○上の子は選択できるが、下の子は変わらないといけないので、行事や迎えでの保護者負担が大きくなる場合もある。きょうだいで小学校がバラバラにならないようにして欲しい。</p> <p>○当初計画の対象地域を一部の反対意見により縮小できるのであれば、本当に適正化が必要なのか。</p> <p>○今の小学校へ通学することを前提に、幼稚園を決めて準備してきたが、全て無駄になる。</p> <p>○小中一貫教育が本当に良いのかが保護者に伝わってこない。2小1中のできるのか。不安ばかりでメリットが伝わってこない。</p> <p>○老朽化した学校へ移るのは残念な気持ちになる。</p>

その他・要望等

- 通学路として想定されるルートは歩道が狭い。歩道橋の前後にたまりがないなど危険である。
- 傘をさして細い道を通るのは、通勤時間帯と重なると危ない。先に通学路の安全対策や整備が必要ではないか。
- 中矢田篠線ができて、国道9号を通らずに東輝中へ通学できると思っていたが、詳徳中になると国道9号を渡る必要があり、小学生と通学時間が重なると危ないのではないか。
- 決定してからの1年半で通学路の安全対策や整備ができなければ準備期間を延長してもらえないか。
- スクールカウンセラーは、今以上に配置してもらえるのか。
- 計画を学校も子どもも知らない。1年生の子どもにも分かるように説明してもらえば子どもたちの不安もなくなるのではないか。
- 実施が決まってからも説明会や協議する場はあるのか。
- 社会増は見込めないのか。現状だけでは、増えた場合に再度見直す必要がでてくるのではないか。
- 安詳小校区で開発が多く、安詳小の児童が増えれば何年後かにまた安詳小から詳徳小へ通学区域の見直しが行われるのではないか。
- 夕日ヶ丘に住民が増えることは予想できたのではないか。安心して安全に通学できるように、生の声を汲み取ってほしい。
- 20年後には安詳小も詳徳小も減ると予想されるが、どのように考えているのか。
- 9月末で決まっていないということは、H32年4月が最短なのか。H31年度から実施するのか。
- 今の安詳小との違いを教えて欲しい。例えば放課後児童会はどうなのか。
- 詳徳中のグラウンドや校舎は人数が増えても大丈夫なのか。教室は足りるのか。
- 合意の判断基準は？決定までのプロセスは？決定後の手順は？
- 小中一貫教育のデメリットはあるのか。
- 来年度以降、実施するまでに安詳小は大丈夫なのか。プレハブを建てる予定はないのか。
- 体操服など東輝中と詳徳中で共通にしたら良いのではないか。
- 国道に対する要望はどこまで聞いてもらえるのか。